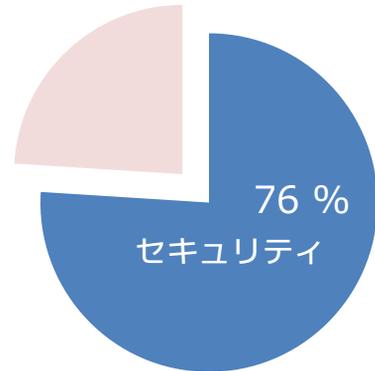


PIIプロセッサとして パブリッククラウド内で 個人情報を保護するための実施基準 ISO/IEC 27018



クラウド利用者の中で高まる セキュリティに対する懸念

近年クラウドサービスの利用が飛躍的に増加していますが、クラウドセキュリティに関する信頼はかつてないほど低下しています。BTが実施した2014年のグローバル調査*によると、IT関連意思決定者の76%が、クラウドサービスを利用する上での主な懸念事項としてセキュリティを挙げています。



クラウドサービスを利用する上での主な懸念事項

* BT(British Telecom) Global study (2014) による

ISO/IEC 27018とは

ISO/IEC 27018 は、個人情報を取り扱うクラウドサービス事業者がパブリッククラウド上で管理する個人情報の保護に焦点を当てた初めての国際規格です。

情報セキュリティマネジメント実践のための規範として広く利用されている国際規格、ISO/IEC 27002 を拡張するセクタースペシフィックガイドライン規格で、仮想空間上で実施する個人情報管理のベストプラクティスを提供します。

ISO/IEC 27018認証とは？

パブリッククラウドPII*プロセッサのマネジメントシステムが ISO/IEC 27001要求事項に適合して運用され、パブリッククラウドサービスで保護すべきPIIのために適切な管理策をISO/IEC 27018のガイダンス及び追加要求事項から適用し運用していることを審査認証します。ISO/IEC 27001認証審査と同時に審査を行います。

*PII: Personally Identifiable Information (個人識別情報)

ISO/IEC 27018 認証取得の対象

- ✓ 個人が識別可能な情報を扱うパブリッククラウドサービスプロバイダ

ISO/IEC 27018を適用するメリット

パブリッククラウドサービスプロバイダは、国際規格に基づいた個人情報保護のルールが整備され、現場で遵守徹底されていることを、第三者機関による審査及びプライベート認証取得によって対外的に証明できます。それにより、ステークホルダーからの信頼を高められることがメリットです。

また、具体的な内容として下記が挙げられます。

- PIIを処理するパブリッククラウドサービスプロバイダが、法的義務及び顧客との契約を遵守することを確実にします。
- 適切に統制されたパブリッククラウドサービスを利用者が選択できるように透明性を確保します。
- パブリッククラウドサービスプロバイダの個人情報保護に関わる法的義務やその他の義務の順守を保証する仕組みを利用者に提供します。

BSI グループについて

BSI (British Standards Institution : 英国規格協会) は、1901年の設立以来、規格のプロフェッショナルとして活動しており、これまで、多くの組織が“excellence”すなわち卓越性を達成しそれを企業体質にするためのサポートに注力してきました。

ISO/IEC 27001の元となるBS 7799を作成したBSIが、国内ISMS認証件数No.1*のその豊富な審査経験を活かし、組織それぞれが抱えるリスクや課題をとらえ、リスクベースの審査を行います。



*2016年9月JAB発行データ

お問合せ

ご不明点など、お気軽にお問い合わせください。

電話でのお問い合わせ : 03-6890-1172

メールでのお問い合わせ :

sales.japan@bsigroup.com

BSI グループジャパン株式会社 | The British Standards Institution (英国規格協会)

東京本社 〒107-0061 東京都港区北青山 2-12-28 青山 (セイザン) ビル 5F T. 03-6890-1172 F. 03-6890-1182

大阪支店 〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町 4-1-3 大阪センタービル 13F T. 06-6244-0770 F. 06-6244-0550